

神様からのテスト

私は自然なお産にもものすごくこだわっていました。

赤ちゃんがお腹の中で育ち

それを生み出すという行為に

ものすごい神秘を覚えていたからです。

一人目は実家の両親達が

助産院なんておかしい、いかがわしいと

いうことで

地元の産院で出産。

二人目を授かったとき、

今度こそ、助産院で生むぞ！と

張り切っていました。

そして、自然なお産をするための

あらゆる知識を身につけようと

本などで情報を集めました。

そんな中で

「玄米菜食」に傾倒していったのです。

仕事がある日は

実家で家族そろって夕ご飯とお風呂をお世話になっていました。

皆と別に自分の食事だけ

玄米を炊いて、肉は食べない。

それを頑に続けていったのです。

父が

「あんまりあなたは極端になると

良くないよ」と

忠告してくれましたが、

私は聞き入れず、

玄米菜食に近い食事を

ずっとしていました。

おかげで妊娠経過は順調。

助産院で無事に安産で

終わることができました。

ところが。

生まれて間もなく

長女に湿疹が出始めたのです。

長男も少しは出ていたので

最初は同じだろうな、と思っていました。
ところが

長女の湿疹は日に日にひどくなり、

顔がただれ

全身にひろがっていきました。

「これはおかしい」

そう思い、

アレルギー専門の小児科へ

まだ首のすわらない大きな重たい赤ちゃんを

抱っこひもにいれて、

電車で揺られて行ったのです。

そこで診断されたのが

小麦、卵、大豆の食物アレルギーでした。

私はものすごくショックを受けました。

「あんなに妊娠中に気をつけていたのに

なんでアレルギーになるの??」

小雪が舞う帰り道、

真っ赤なただれた顔で抱っこ紐の中から

私を見上げて笑う長女をみて、

わたしは泣きました。

「女の子なのに、アトピーが治らなかったら

本当にどうしたらいいの？」と。

その時に私は思いました。

いくら身体に良いと言われていても

あまりに頑にそれにこだわったせいで

私の身体が解毒して

それがすべて胎内の赤ちゃんへ

流れていってしまったのではないか？

解毒されたのは

わたしの身体だけでなく、

私の頑さも解毒されていったのだろう。

それが長女に影響をしたのかもしれない。

もう、「これが良い」という思い込みで

一つのことこだわるのは

やめよう。

「何事も、中庸がいい」と

娘が教えてくれたのだ。

やり過ぎはダメだ。

一つの答えを求めることは無意味なんだ。

それからというもの、

私は食事制限を守りながら授乳する一方で

アレルギーについても

あまり深刻に考えないようにしていきました。

母乳をあげるために

食事制限（小麦、卵、大豆をとらない）によって

私は激やせしましたが、

それでも成長するにつれて

長女は少しずつよくなってきているようでしたので、

がんばりました。

一度は、実家で

パスタの破片を食べて

アナフィラキシーになり、

コトンと首が折れたことがありました。

「え！？こんなに幼いうちに
命が終わるなんてことあるの！！」と
私はたまたま病院の隣の実家で
こうなったことに感謝しながら
病院へ抱きかかえて走り込みました。

薬の本を震える手で開き、
体重から投薬量を計算し、
息が止まりそうな（止まってたかも）の
娘に長女にノルエピネフリンの
注射をました。

幸い、助かりました。

でも、その時に

「もう、絶対にこの子は大丈夫だ」と
思ったのです。

「この子には私がついているから」

そして、この子が私に

大切なことを教えてくれてるから。

私はこうして

出来事があるたびに

それを素直に受け止め

流れに逆らわず、

受入れてきました。

「どうして自分ばかり」という思いは

誰にでも出てくることがありますよね。

でも、

それを経験することはある意味、

私は

「あ～、テストされてるんだな」と思うようにしています。

神様からのテストです。

そのテストに真剣に取り組み、

一つ、何かの答えを出して

そのように自分を変えられたら、

そのテストは合格。

でも、

テストを嫌って、文句を言い、

自分の態度も、考えも変えなかったら、

次はもっと分かりやすいように

ひどい事柄になって

出題されるのです。

「なんで自分ばかり何度も」という場合は

テストに真摯に向き合っていないから。

イヤだ、と目を背けずに

どんな出来事でもまずは受入れる。

そして、自分で考える。

泣いてもわめいてもいいから、

そこから逃げないで

自分なりの答えを出してそのように行動する。

人生はその繰り返しのような気がします。

そして、テストを受けて真摯に向き合ううちに

そんなにひどいテストは

されなくなるものです。

私がそうです。

本当に大変な時期がありました。

でも、

私はもう、何が起こっても大丈夫だ、と

自分で思っています。

ずっとそれが続くこともなければ

どうしようもできないこともある、と

わかっているからです。

自分でどうしようもできないことは

時が経つのを待つだけです。

そういう謙虚さを身につけていくと

なんだかとても

楽になります。

神様からのテストは

どんな問題がくるでしょう。

怖がらずに自然体で

立っていたいですね。

